

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 37 分 35 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352010 土木課用地係
事務事業 02769 道路等整備促進事務

電話番号 0566-71-2238

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	012	道路等整備促進事務			
事業期間	昭和56年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・道路建設促進事務 ・河川改修促進事務 ・計画道路整備促進事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	道路建設・河川整備を促進するため、関係機関が実施する要望会への参加及び道路建設・河川整備を促進する同盟会、協議会等に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	8,080	12,373	20,848
事業費	1,380	1,423	6,248
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,380	1,423	6,248
人件費計	6,700	10,950	14,600
正規（人）	1.00	1.50	2.00
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	道路や河川整備の促進を目的とする同盟会等に参加するとともに、都市基盤整備事業促進要望会等を開催し国・県に対し事業促進を要望しました。	道路や河川整備の促進を目的とする同盟会等に参加するとともに、都市基盤整備事業促進要望会等を開催し県に対し事業促進を要望しました。	道路や河川整備の促進を目的とする同盟会等に参加するとともに、都市基盤整備事業促進要望会等を開催し県に対し事業促進を要望します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352010 土木課用地係
事務事業 02769 道路等整備促進事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	市の取組みであり、他の事業主体が行うものではありません。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	道路等整備の早期実現により、市民の利便性の向上に寄与します。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	要望会の内容等を見直すことにより、事務の効率化に努めます。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	社会情勢等を考慮し、適正な要望活動等の実施に努めます。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	道路・河川整備を促進するため、継続して国や県の関係機関に対し、要望活動を行います。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02771 主要道路新設改良事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	013	主要道路新設改良事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	交通体系として必要な幹線道路が
目的	交通の分散化による交通渋滞の緩和など、円滑な交通体系を構築し、道路利用者の利便性の向上を図ります。
手段	現況道路の拡幅や改良、新設道路の整備を実施します。
事務内容	道路改良の設計・用地買収・工事、道路新設の設計・用地買収・工事

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	619,108	1,090,585	504,260
事業費	602,358	1,054,815	473,600
国庫支出金	225,198	434,858	141,398
県支出金	33,491	101,136	91,004
地方債	202,404	390,007	127,000
その他	0	93,594	80,000
一般財源	141,265	35,220	34,198
人件費計	16,750	35,770	30,660
正規（人）	2.50	4.90	4.20
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	幹線道路の道路拡幅、歩車道分離、交差点改良の用地買収、設計、工事を実施	幹線道路の道路拡幅、歩車道分離、交差点改良の用地買収、設計、工事を実施	幹線道路の道路拡幅、歩車道分離、交差点改良の用地買収、設計、工事を実施予定

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 37 分 53 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02771 主要道路新設改良事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
道路整備率（道路整備済延長 / 道路整備予定延長）	%	0.00 71.72	73.28 72.33	75.80 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	市が管理する道路です。	1
		必要性	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
3	理由	市民の利便性向上に必要な事業です。	2
		有効性	
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
4	理由	ほぼ予定通り進捗しています。	1
		効率性	
		事業の効率化・事業費の削減	
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
5	理由	事業に対する関係者の理解を得た上で進めています。	1
		公平性	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	事業規模は適正です。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	交通の分散化、交通渋滞の緩和などの円滑な交通体系を確保し、引き続き道路利用者の利便性の向上を図る必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 37 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02772 生活道路新設改良事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	014	生活道路新設改良事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	地域の生活に密着した道路が
目的	地域の道路に関する町内会などからの要望を踏まえ、必要な道路機能を確保するための改善を図ります。
手段	現況道路の排水施設の改修や新設、道路幅員の拡幅や改良を実施します。
事務内容	生活道路の設計・工事、用地買収

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	79,884	98,307	175,080
事業費	53,084	85,532	155,370
国庫支出金	6,407	30,431	40,150
県支出金	0	0	0
地方債	5,754	26,954	29,000
その他	0	0	0
一般財源	40,923	28,147	86,220
人件費計	26,800	12,775	19,710
正規（人）	4.00	1.75	2.70
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	生活道路の新設、改良 工事及び拡幅工事を実施	生活道路の新設、改良 工事及び拡幅工事を実施	生活道路の新設、改良 工事及び拡幅工事を実施 予定
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02772 生活道路新設改良事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業化された生活道路 新設改良の進捗率（市 道北大坪天白線）	%	0.00 47.00	54.00 54.00	71.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補 完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	市が管理する道路です。	
	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
3	理由	市民から生活道路の改善が求められています。	
	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
4	理由	予定通り進捗しています。	
	効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
5	理由	事業に対する関係者の理解を得た上で進めています。	
	公平性	事業規模・サービス水 準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	事業規模は適正です。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	市民の要望に対応し、引き続き地域住民に密着した生活道路の環境改善を図る必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 37 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02774 歩道整備事業 電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	001	歩道整備事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	交通弱者である歩行者や自転車利用者などが
目的	安全に通行できます。
手段	歩道の新設、拡幅、改良工事を実施します。
事務内容	歩道の設計・用地買収・工事

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	0	12,775	85,600
事業費	0	0	71,000
国庫支出金	0	0	28,000
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	25,000
その他	0	0	0
一般財源	0	0	18,000
人件費計	0	12,775	14,600
正規（人）	0.00	1.75	2.00
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		測量、予備設計	詳細設計、用地測量、 土地鑑定評価、物件調査
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8年 8月12日
15時37分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02774 歩道整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業化された歩道整備の進捗率	%	0.00 0.00	10.00 10.00	20.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	安全な歩道を整備することは安城市の責務です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	町内会などから要望書が提出されています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	予定通り進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	法面、水路敷を利用し整備する等、事業費削減を検討しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	近隣自治体も同様の事業を行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	交通弱者である歩行者や自転車利用者などの安全を確保するため、引き続き歩道の新設、拡幅、改良を行う必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02776 交差点改良事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	015	交差点改良事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	信号交差点に進入した車両が
目的	渋滞が無く、安全に通過できます。
手段	右折帯の設置や交差点形状の改良を実施します。
事務内容	交差点の設計・用地買収・工事

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		19,988	17,513	33,372
事業費		3,238	2,913	18,042
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,238	2,913	18,042
人件費計		16,750	14,600	15,330
	正規（人）	2.50	2.00	2.10
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	用地買収、物件補償、 交差点改良工事、交差点改良設計業務	用地買収、物件補償、 交差点改良工事	用地買収、物件補償
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 37 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02776 交差点改良事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業化された交差点改良の進捗率	%	0.00 45.00	90.00 85.00	90.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	交差点を改良し渋滞解消や安全を確保することは安城市の責務です		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	市民から渋滞対策及び交通安全が求められています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	概ね予定どおり進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	交差点整備計画を作成し整備順位を決めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	近隣自治体においても同様の事業を行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	交差点における交通渋滞の緩和と安全対策を速やかに実施するため、事業を継続する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02777 橋りょう新設改良事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	016	橋りょう新設改良事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	河川に架かる橋りょうが
目的	利用者の安全性と快適性の向上を図ります。
手段	河川改良事業と同調し、橋りょうの改築・拡幅を行います。
事務内容	県主体工事の負担金手続き事務 市主体工事の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	149,173	278,948	215,069
事業費	136,644	274,349	211,930
国庫支出金	0	0	78,500
県支出金	19,166	9,615	1,500
地方債	0	0	70,000
その他	0	190,985	60,000
一般財源	117,478	73,749	1,930
人件費計	12,529	4,599	3,139
正規（人）	1.87	0.63	0.43
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	長田橋迂回道路の借地 加美橋の右岸下部工 姫下橋の仮橋工 姫下橋仮橋道路の借地	長田橋迂回道路の借地 加美橋の右岸下部工 姫下橋の仮橋工 姫下橋仮橋道路の借地	長田橋迂回道路の借地 加美橋の上部工 加美橋の取付道路工 姫下橋の湛水BOX 姫下橋の左岸下部工 姫下橋の旧橋撤去 姫下橋仮橋賃借 姫下橋仮橋道路の借地

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 38 分 10 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02777 橋りょう新設改良事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
改築が完了する橋りょう数	橋	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	道路管理者として実施しています。	
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	安心、安全、快適な道路交通環境を実現する必要があります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
	理由	計画的に実施しています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	県の河川改修と同調して進めています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	適正な事業規模です。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	河川改良と同調する事業ですが、橋りょうの利用状況や市道との取付方法を考慮し、計画的に整備を実施します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02778 河川維持管理事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	006	雨水対策の推進			
事務事業	001	河川維持管理事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	地域の生活に密着した河川や排水路が
目的	適切に維持管理されます。
手段	準用河川、調整池及び排水路の草刈や浚渫等の維持管理業務を行います。 町内会の要望に基づき排水路整備を行います。
事務内容	工事の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	303,450	342,797	365,110
事業費	286,030	324,912	345,765
国庫支出金	32,276	20,998	75,200
県支出金	0	0	0
地方債	0	26,000	30,000
その他	0	0	0
一般財源	253,754	277,914	240,565
人件費計	17,420	17,885	19,345
正規（人）	2.60	2.45	2.65
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	河川、排水路等の草刈、浚渫及び修繕等の維持管理を実施	河川、排水路等の草刈、浚渫及び修繕等の維持管理を実施	河川、排水路等の草刈、浚渫及び修繕等の維持管理を実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8年 8月12日
15時38分10秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02778 河川維持管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
排水路整備に関する町内会の満足率	%	0.00 69.00	70.00 57.00	70.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	管理者として実施しています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	要望件数は２５４件ありました。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	予定していた工事は年内に完了しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	優先順位の高いものから実施し、事業の効率化を図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	適正な事業規模です。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	施設の持続的な機能確保のため、維持管理を行う必要があります。また、地元町内会との協働による維持管理活動についても推進します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 38 分 10 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02779 河川新設改良事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	006	雨水対策の推進			
事務事業	002	河川新設改良事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市内を流れる河川や排水路が
目的	流域住民の安全性と快適性の向上を図ります。
手段	浸水被害解消のため 5 年確率の計画規模で河川及び排水路の整備を行います。 計画降雨を超える豪雨に対する防災・減災対策に取り組みます。
事務内容	工事の設計、積算及び監督 町内会等との協働による防災意識の普及活動

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	58,586	128,594	170,599
事業費	47,330	111,950	157,970
国庫支出金	11,330	19,325	0
県支出金	0	0	25,000
地方債	9,914	0	0
その他	0	0	0
一般財源	26,086	92,625	132,970
人件費計	11,256	16,644	12,629
正規（人）	1.68	2.28	1.73
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	水田貯留事業の推進 住民手づくりハザード マップ作成 大雨行動訓練実施	水田貯留事業の推進 住民手づくりハザード マップ作成 大雨行動訓練実施	水田貯留事業の推進 住民手づくりハザード マップ作成 大雨行動訓練実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 38 分 10 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02779 河川新設改良事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
家屋床上浸水戸数	戸	0.00 0.00	0.00 14.00	0.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	管理者として実施しています。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	浸水対策は安全な市民生活に必要不可欠です。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
4	理由	計画的に実施しています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	事業の効率化に取り組んでいます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	適正な事業規模です。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	市民、事業者及び行政が協働して、あまみずを水資源として捉え、さらに防災・減災の視点を取り入れた雨水対策を推進します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02780 調整池整備事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	006	雨水対策の推進			
事務事業	003	調整池整備事業			
事業期間	平成14年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	河川流域の市民が
目的	調整池が整備されることで浸水被害を受けにくくなります。
手段	平成12年度の東海豪雨をはじめとする集中豪雨や市街化の進展による雨水の流出増により、浸水被害が多発し緊急に浸水対策を施す必要性が生じてきました。流域全体の河川流下能力不足を解消するため計画的に調整池を設置し浸水被害の軽減を図ります。
事務内容	工事、委託の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		34,835	2,555	14,380
事業費	事業費	32,021	0	10,000
	国庫支出金	16,011	0	5,000
	県支出金	0	0	0
	地方債	14,315	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,695	0	5,000
	人件費計	2,814	2,555	4,380
	正規（人）	0.42	0.35	0.60
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	追田排水区浸水対策計画の策定	追田排水区及び勢井前第一排水区の浸水対策計画	追田排水区及び勢井前第一排水区の浸水対策計画

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 38 分 10 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02780 調整池整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
調整池・遊水地容量	m ³	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
調整池設計	式	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	理由	1
		必要性	
		市として実施する必要があります。	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
3	理由	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
		3 市民ニーズはない又は不明である	
4	理由	有効性	1
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
5	理由	効率性	1
		事業の効率化・事業費の削減	
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
6	理由	公平性	1
		浸水リスクが高い排水区を優先することで効率化を図っています。	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
7	理由	3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
8	理由	適正な事業規模です。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	床上・床下浸水の解消のため、調整池の設置を推進する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001352040 土木課河川係

事務事業 02782 雨水貯留浸透施設設置事業

電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	006	雨水対策の推進			
事務事業	004	雨水貯留浸透施設設置事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱				
備考					

【事業分析】

対象	雨水貯留浸透施設を設置した市民が
目的	浸水対策に貢献します。
手段	雨水の流出抑制及び雨水の地下浸透を推進し、雨水の有効利用及び良好な水環境を図り、もって地球環境の保全に資するため雨水貯留施設及び浸透施設を設置する者に対し補助金を交付します。補助金等交付決定通知書の条件において当該施設の 7 年以上の保全が定められており、設置後 3 年目及び 7 年目の補助者に対してアンケート調査を行います。
事務内容	雨水貯留の意義付けの P R 補助制度の P R 申請手続き事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		263	2,678	5,055
事業費	事業費	196	123	2,500
	国庫支出金	78	60	250
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	118	63	2,250
	人件費計	67	2,555	2,555
	正規（人）	0.01	0.35	0.35
その他経費		0	0	0

	令和 6年度 雨水貯留浸透施設の普及促進	令和 7年度 雨水貯留浸透施設の普及促進	令和 8年度 雨水貯留浸透施設の普及促進
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02782 雨水貯留浸透施設設置事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
雨水貯留浸透施設設置補助件数	件	0.00 9.00	20.00 6.00	20.00 0.00
設置者の活用率	%	0.00 81.00	100.00 92.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	雨水対策を市民、事業者と協働して推進する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	施設設置の支援に対して、充分なニーズがあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	目標とする補助件数を満たしていません。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	雨水流出抑制施設設置に対する P R を実施しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体にも同様の制度があります。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	雨水対策は、市民、事業は及び行政が協働して実施する必要があり、市民や事業者に対する費用面の支援により普及促進を図ります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。